

Voice



どんな経験も無駄にならない仕事です

私はハンガリー出身の日本育ちで、子どもの頃「将来は国際的な仕事に就くのだろう」と思っていました。大学院修了後はすぐに国際協力業界に就職したかったのですが、なかなかうまくいかなくて、まずは実体経済を知るため証券会社に勤めました。

4年後、JETROIに転職しましたが、途上国とはあまり縁のない対日投資を担当しました。2年半後、本当に自分は国際協力の仕事をしたいのか確かめるため、仕事を辞めてネパールへ。関心のあったジェンダー問題に取り組むNGOでインターンをしました。実はこれが初の途上国での長期滞在でした。

国際協力業界で働くには実務経験を求められます。さらに若手の採用は35歳くらいまで。私は32歳だったのでぎりぎりのタイミングでした。

今思うのは、国際協力の仕事にはいろんな分野があり、どんな経験でも活かせるということです。

クティチ ペロニカさん
業務支援室 研究助手

IDCJ入社

ネパールのNGOで
インターン

日本貿易振興機構
(JETRO)勤務

証券会社勤務

英国立シェフィールド
大学大学院
社会科学政治学科修了

英国立シェフィールド
大学 社会科学部卒業

SDGsは ゴールでありツールだ

現在、取り組んでいるのは産業人材育成に関するJICAの調査案件と、民間企業向けのSDGsに関する啓発・研修活動です。なかでもSDGsに関する業務は昨年末くらいから引き合いが多くなりました。

背景としては最近、事業のなかにSDGsを取り入れていこうという企業が増えてきたことです。そうした企業は、例えば仕入先で児童労働や人権侵害を引き起こしていないかといった事業に関するリスクを監視したり、製品を活かして途上国の課題を解決していくところにビジネスチャンスを見出そうとしています。私たちも企業がSDGsに取り組む意義をセミナーを通して伝え、さらにはコンサルティング業務をお引き受けしています。

当社としては「現場と理論の融合」を大事にしており、SDGsも考えただけでなく、企業の皆さんが現場で活用できるツールとして理解し、活用してもらうため、いろいろ工夫しているところです。



企業でSDGsに関する講演を行う様子

Work

株式会社国際開発センター 一般財団法人国際開発センター

設立：2010年(株)(一財)、1971年(旧法人)
資本金：8,000万円(株)
従業員：92人(株)、9人(一財)
本社：東京都港区
事業分野：運輸交通、人材育成・教育、保健、IT・情報、農村開発、都市・地域開発、産業、環境など
募集職種：研究員(コンサルタント)、研究助手
募集人数：若干名
住所：〒108-0075
東京都港区港南1-6-41
芝浦クリスタル品川12階
Tel：03-6718-5932(株)
03-6718-5931(一財)
Mail：recruit_r@idcj.or.jp(研究職)
recruit_g@idcj.or.jp(事務職)
HP：https://www.idcj.jp



タイのバンコクでKAIZENプロジェクトの
セミナーを実施

国際協力専門の日本初
総合シンクタンク

国際開発センター（IDCJ）は、1971年に財団法人として設立された日本初の開発・国際協力分野専門の総合的なシンクタンクだ。2011年に一般財団法人に移行するとともに株式会社を設立し、二法人体制とした。調査事業と人材養成事業を株式会社、公益性の高い社会貢献推進事業、自主研究事業、国際交流事業を一般財団法人が担っている。

売り上げの約9割は国際協力機構（JICA）から委託される政府開発援助案件だが、取引先の多角化を進め、近年は民間企業や国際機関、非政府組織（NGO）などの仕事も増えてきた。18年にはSDGs室、19年にはビジネスコンサルティング部を新設し、企業の持続可能な開発目標（SDGs）への対応について解説するセミナーなど独自サービスなども展開している。

裁量労働制を採用
努力次第で高収入

IDCJでは、開発コンサルタントとしての豊富な実務経験を持つ人を研究員として採用、経験の少ない人は研究助手として採用している。研究助手は国内でのアシスタント業務の後、研究員へと昇格する道が開ける。研究助手の応募資格は、修士号を持つ25歳以上、英語での業務遂行が可能なおこと。

求める人材は、視野を国際社会に向けつつ、しっかりと実務能力を有するビジネスパーソン、豊かな創造性と責任感を持ち、新たな事業機会を敏感に感じ取って実現可能な計画に落とし込むことができる人。

IDCJ全職員の男女比はほぼ半々。裁量労働制を取り入れ、研究職は自らの年俸について各自で目標を設定する。そのため若くても実力があれば高い収入を得ることが可能だ。